



◆コロナ関係 ファクターX?

日本国内で新型コロナウイルス感染者の重症・死亡事例が他国と比較して少ない背景として日本人特有の体質的要因が注目されている。

10日の読売新聞によると、日本理化学研究所は日本人の約60%が保有する白血球の型「HLA-A24」が新型コロナの重症化を予防するという内容の研究結果を発表した。

理研の藤井真一郎研究チームリーダーはA24型の人々が風邪の原因である季節性コロナウイルスに対する免疫細胞を保有した場合、この細胞が新型コロナに感染した細胞を攻撃すると説明した。この免疫細胞を持つA24型の人々は細胞が新型コロナに感染した場合、「QYI」というペプチドが表れてキラーT細胞を増殖させることが明らかになった。このキラーT細胞は感染細胞を破壊して重症化を防ぐ。

研究陣は「過去に季節性コロナに感染した人が、新型コロナに感染すると、体内で眠っていたキラーT細胞が速やかに増え、感染細胞を排除している可能性がある」と分析した。研究陣はA24型を持つ人口比率が日本は60%程度だが、欧州と米国の場合には1-20%にすぎないという点に注目した。

コロナ感染が広がった頃に、山中伸弥先生がファクターXの存在の可能性を言われていたのを思い出しました。



いい言葉 誓詞(ちかひのことば)

中村天風

今日一日
怒らず 恐れず 悲しまず、
正直 親切 愉快地、
力と 勇気と 信念とをもって
自己の人生に対する責務を果たし、
恒に平和と愛とを失わざる
立派な人間として生きることを、
自分自身の厳かな誓とする

天風さんは私のメンターのひとりです。就寝前にこの言葉を口にする習慣をちかひの言葉が強くになるといわれています。

◆私の本棚

心の基地はおかあさん
続・心の基地はおかあさん
ほんの少しのやさしさを

平井信義 新紀元社

幼児教育の第一人者、故平井先生の三部作といってもいい内容の本です。残念ながら、絶版になりつつあります。やる気と思いやりを育てるためには子どもにどう接するべきかを、色々な実例をあげて分かりやすく解説されています。

基本は、決して叱らない、たたくのはもつてのほか。お母さんが心の基地となるように、子どもに話しかけ、子どものいたずらを見守る大らかさが大切です。抱きしめるという会話がいかに大切かがよく分かります。

最初は体を離さず、成長にしたがって、体を離しても手は離さず、手を離しても目を離さず、目を離しても心を離さずともいいます。

孫ができてからは平井先生の「孫育て保爺」を再読しました。



慈恵会グループの紹介⑫

新須磨クリニック

2008年に新須磨病院から健診部門を独立させ開設した健診専門クリニックです。人間ドック、レディースドック、一般健診、婦人科健診など、幅広い健診メニューで対応しており、大手企業の健保組合や、官庁からの委託も受けています。

男性は富田院長のみで、婦人科健診も乳がん検診も女性医師で、スタッフもすべて女性で固めており、女性が受診しやすいクリニックと評判になっています。美容外科を併設していましたが、諸般の事情により、今年3月から廃止しました。



神戸で一番
親切で
安全で



最高の医療を!

◆今週の院長予定

12月13日	月	8:00運営会議、17:30経営改善委員会
12月14日	火	9:00外来、14:00手術、17:30業務改善委員会
12月15日	水	松江
12月16日	木	9:00~11:00来客、17:30来客
12月17日	金	9:00外来、14:00手術、16:00コロナ対策会議
12月18日	土	9:45新須磨クリニック、14:00介護の家訪問診療